



県政報告 県政を身近に

令和6年
2024
夏季号

Vol.52

埼玉県議会議員

武内まさふみ

【発行】
埼玉県議会 自由民主党議員団

〈ごあいさつ〉

今年は梅の生産が極端に少なくなりました。暖冬により花が通常より早く咲いたものの、その後の冷え込みでハチの活動が鈍く受粉が進まなかったと言われてます。これは全国的な傾向のようです。また、梅雨入りの時期が大幅に遅れました。近年、こうした異常気象の影響が農業生産をはじめ様々な活動に悪影響を及ぼしています。

今後も気候変動の影響による猛暑対策や集中豪雨等による災害への備えは益々重要になります。私は、引き続き県民の皆様が安心して暮らせるよう地域の安全対策にしっかり取り組んでまいります。

進む県議会の電子化・効率化

県議会では電子化を進め、配布資料はすべて印刷物ではなくパソコンで閲覧しています。また、コロナ禍等の経験を踏まえ、委員会において、感染症のまん延防止、大規模災害等の発生、育児・介護等のやむを得ない事由がある場合、オンラインでの出席が認められています。さらに、令和6年度から次の対応を開始しています。

●電磁的記録による議会に係る手続きを可能に

議会への申請、議会が行う処分通知、縦覧などをインターネットやEメールなどで行うことができるようになりました。〔「情報通信技術を活用した埼玉県議会の活動の推進に関する条例」(R6.4.1施行)〕

●速記の廃止

本会議における会議録の記録方法としてこれまで行ってきた速記を廃止し、録音等による方法で記録し議事録を作成することになりました。



▲令和6年6月定例会から速記者無し

●本会議出席の答弁者

これまで一般質問の場合、部局長全員が本会議場に出席していましたが、6月定例会から発言通告に関係のない答弁者は出席不要としました。

令和6年6月定例県議会(令和6年6月17日～7月5日)

今議会では、知事からの補正予算の議案はなく、地方税法などの改正に伴う県税条例の一部を改正する条例など条例案3件、専決処分の承認1件、川口特別支援学校の中央棟新築工事の請負契約の締結1件の計5議案が承認されました。

また、自民党議員団から提案されたいわゆる「スクラップヤード規制条例案」が可決、成立しました。

専決処分の承認については、県税条例等の一部改正を令和6年3月30日に処分したものです。

- 主な改正内容**
- (1)個人県民税：令和6年度分の個人県民税を市町村民税と併せて、納税者及び配偶者を含めた扶養家族1人につき1万円の定額減税を行う。
 - (2)不動産取得税：住宅、土地を取得した場合に税率(本則4%)を3%とする特例措置を3年延長する。また、課税標準を価格の2分の1とする特例措置を3年延長する。
 - (3)軽油引取税：免税軽油制度の適用期限を3年延長する。
 - (4)狩猟税：狩猟者登録に係る課税免除と税率の特例措置の特例期限を5年延長する。



スクラップヤード規制条例が成立 ～自民党議員団が提案～

条例の施行は 令和7年1月1日から

金属スクラップなど再生可能な資源物を屋外で保管する「ヤード」における火災や崩落、騒音、振動、悪臭などの発生を予防し、県民生活の安全確保と生活環境の保全を目的として、「特定再生資源屋外保管業の規制に関する条例案」が自民党議員団から提案され、可決・成立しました。

現在、再生資源物(木材、ゴム、金属、ガラス、コンクリート、プラスチックなどの材質を原材料とするもの)は、廃棄物処理法の廃棄物に該当せず、法規制の対象外になっています。そのため、屋外でこうした資源物を保管するヤードが住民の生活を脅かすケースが増えており、さいたま市や千葉県などが規制条例を制定しました。本県としても条例を制定し、法の網をくぐって県内で不適切な保管が行われ

県の許可を得ずに保管業を行った 場合など条例違反に対し罰則

ないようにする必要があります。こうした背景の下で、本条例案が提出されました。

主な内容は、金属やプラスチック製品を収集・保管する事業者(事業場面積100㎡超)について許可制、更新制とすること、住民説明会の開催などによる事業の内容周知を義務付けること、また、火災や崩落、騒音、振動などの防止に必要な保安基準の遵守義務を定めました。

さらに県は勧告、措置に対する改善命令、許可の取消ができるようになります。県の許可を得ずに保管業を行った場合は、1年以下の懲役または100万円以下の罰金に処することとしました。

条例の施行は、令和7年1月1日からとなります。



越生・鳩山新校(仮称)の 名称募集

県教育委員会では、県立越生高校と県立鳩山高校を統合し、県立越生高校の場所に新校を令和8年4月に開校する予定です。越生・鳩山新校(仮称)は全日制で、普通科120人、美術表現科40人を募集します。そこで、新校の名称を決めるため6月14日から7月26日まで校名のアイデアを募集しています。今後、集まった校名アイデアを参考に、新校準備委員会などで候補案を検討・選定していくこととなります。(右のQRコードから応募フォームに入れます)



なお、ほかに同時期に開校予定の岩槻新校、和光新校、秩父・皆野新校、八潮新校、大宮工業・浦和工業新校の5校についても、校名アイデアを募集しています。



▲現在の越生高校全景

旧毛呂山高校の解体は どうなる?

令和6年度予算として校舎解体のための継続費11億4,400万円(R6~R7)が認められましたが、解体に取り掛かる前に、民間事業者から跡地の利活用のアイデア等を出してもらい最終的な方向付けをすることとしました。5月中に現地見学を経て意見を聞く、サウンディング調査を実施しました。

調査では、県が更地にした場合の利活用をはじめ、事業者が建物を撤去した場合、校地と既存の建物を活用する場合などについて、意見を聞きました。調査には複数の参加者からアイデアが出されました。

県教育局では、調査結果について7月以降に発表し、跡地の利活用の方針を最終決定します。



▲旧毛呂山高校全景

「こども・若者基本条例」 骨子案への意見を募集

～8月7日まで～

県議会自民党議員団では、子育て・子育ての推進に関する県の施策を総合的かつ計画的に推進することを目的とした「こども・若者基本条例」の制定を目指して準備を進めてきました。このたび、条例の骨子案ができましたので、その内容について子供を含めた県民の皆さんにご意見を伺うため、意見募集をすることとしました。ぜひご意見をお寄せください。

【お問い合わせ先】

埼玉県議会自由民主党議員団

県民コメント担当

TEL：048-822-9509

FAX：048-824-6037

※ホームページからも意見投稿ができます。(右のQRコードから投稿フォームにお進みください)



武内まさふみの活動日誌

■西部地域消防指令センター 開所式 (3月16日)

これまで、西入間広域消防組合消防本部、埼玉西部消防局、坂戸、鶴ヶ島消防組合消防本部、比企広域消防本部の4本部は、それぞれの消防指令センターで119番通報を受けて出動を指示していましたが、共同運用により、管轄地域に隣接する地域の災害にも迅速に対応できるようになりました。令和6年4月1日から運用を開始しました。



▲西部地域消防指令センター(日高市)

■台湾東部沖地震被災者支援 募金活動 (4月15日)

県議会日台友好議員連盟のメンバーにより、台湾東部沖地震の被災者支援募金活動を行いました。



▲議連の参加者(浦和駅西口)

■八高線にSLを走らせること を要望 (4月26日)

沿線の県内首長の要望書を携え、JR高崎支社に再度八高線のSL走行を要望しました。県との事務レベルの協議に入ることとしました。



▲JR高崎支社での協議の様子

■県警岩槻高齢者講習セン ターの内覧会 (5月21日)

県内の高齢者の運転免許所有者は増加傾向にあり、これまで免許更新時の講習が受けづらい状況になっていました。全国初の高齢者講習に特化したセンターの設置により、受講がよりスムーズになることが期待されます。

5月27日からオープンしました。



▲運転コースを視察中の武内県議

■狭山茶摘みフェスタ2024 (6月1日)

県茶業研究所で毎年開催されているイベントで、茶摘み体験には多くの方々に参加していました。武内県議は狭山茶振興議員連盟の一員として出席しました。



▲茶畑が広がる会場(入間市)

■企画財政総務委員会の視察 (6月5日~6日)

◆いづなコネクトEAST

長野県飯綱町は、廃校にした2つの小学校をリノベーションして、令和2年5月に地域活性化の拠点「いづなコネクトEAST、WEST」を整備しました。同施設は、企業のオフィススペースや児童クラブ、醸造所などが入り、食・農・しごと創りをテーマにした複合施設です。廃校の有効活用は、本県にとっても重要なテーマです。



▲いづなコネクトEASTの外観

◆信州地域デザインセンター

長野県は、「SDGs推進企業登録制度」の創設や「ゼロカーボン戦略」の策定など全国に先駆けてSDGsの取組を実施しています。また、産学官で「信州地域デザインセンター」を開設し、広域的、専門的な視点で市町村のまちづくりを支援しています。当日は、県議会でヒアリングの後、デザインセンターを視察しました。



▲信州地域デザインセンター

■埼玉県消防協会西入間支部 消防ポンプ操法大会

(6月16日)

毛呂山、鳩山、越生の3町から14分団が参加し、高い操法技術が展開されました。



▲消防ポンプ操法大会の様子